

ロンド

第163号

伊勢フォークダンス協会
TEL 0596-24-0634
平成25年7月5日発行



梅雨の季節の風物詩・紫陽花が雨に濡れて一段ときれいに咲き誇り、夜になればホテルが飛び交い、この情緒あふれる日本に生まれてよかった!!と痛感します。

がしかし、これからはいよいよ夏本番!!

暑さに負けず、でも熱中症には注意しながら、みんなでダンスを楽しみたいものです。



ステキでした!!

伊勢FD協会会長 竹内千恵子

むし暑い梅雨のまっただ中の6月16日(日)、いせトピアにおいて、午前中にはFD巡回講習会があり、70名が参加して3曲の伝達を受けました。

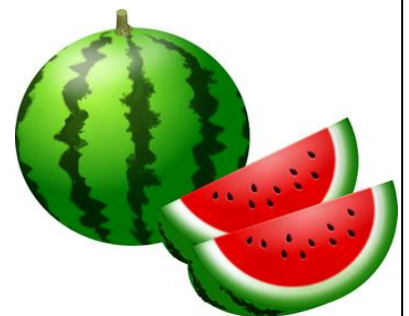
また、午後からは親睦パーティーが開催され、143名の参加がありました。みんな元気、元気。そして、きれい、ステキでした(ドレスが...?)
汗だくでしたが、楽しかったです。

10月の“よい出合いを伊勢で! 60周年記念祭”には、会員さん全員の参加を目標として、サブアリーナに集合しましょう!!

行事予定

協会・関係団体のこれからの行事予定をご案内!

- 7月5日(金) 協会第2回理事会
- 7月21~23日(日~火)
中部近畿サマー講習会(神戸市舞子)
- 7月27~28日(土~日)
県支部サマー講習会(四日市市)
- 7月31日(水) サマー伝達講習会踊り合わせ
- 8月7日(水) 協会第3回常任理事会
- 8月10日(土) 協会サマー伝達講習会
- 9月6日(金) 協会第3回理事会
- 9月29日(日) みえスポーツフェスティバル
~フォーク・レクダンス~(鈴鹿市)



「私とフォークダンス」

「私とフォークダンス」、2回目の今回は、田中泰子さんです！田中さんにはあるフォークダンスの曲に思い出があるそうで…



フォークダンス曲の思い出

田中泰子

フォークダンスとの初めての出逢いは妹の一言から。

「踊りに行ったけど、雰囲気も良かったし、みんな親切に教えてくれたよ。一度、姉ちゃんも行って見たら…？」

即、次の例会会場に。

当時の労働福祉会館・厚生小学校講堂は木造建築で、床も木で…

ダンス用の靴もなく、手取り足とりで、何回目かの時、「ハーモニカ」に出合ったのです。

どうしても覚えたくて、一人の方にピッタリ張り付き、足を見ながら必死で後ろに付き、マスターできた時は感動と嬉しさで一杯でした。

残念ながら、その方のお顔も今は思い出せませんが、若き日の思い出の一曲です。



～あ・ゆ・み～



今年、私たち伊勢フォークダンス協会はめでたく創立60周年を迎えます。そこで、協会が生まれた当時から今に至るまでを、これから5回に分けて振り返ってみようと思います。1回目の今回は、協会の創立から昭和39年までです。
(参考：協会HP・50周年記念誌・「ロンド (No.101)」)

.....

昭和28年4月、宇治山田市レクリエーション協会として発足。
青年学級として行政とタイアップしてスクエアダンスを中心に活発に活動を行い、現在と異なり当時は男性会員の方がはるかに多かった。
商業陳列館・厚生小学校講堂などで毎週例会を開催。
津・松阪・鳥羽方面などからの参加も多かった。

年 月	できごと
昭和28年4月	「宇治山田市レクリエーション協会 (URA)」発足
昭和30年	「伊勢フォークダンス協会」と改称
昭和36年8月	第1回中部近畿サマーキャンプ (明倫小学校・大安旅館)

特別寄稿：協会創立 60 周年に寄せて

協会 60 周年を記念して、創立当初からご活躍の山本英一さん（桜木町在住）に当時を振り返っていただきました。



創成期の伊勢フォークダンス協会

伊勢フォークダンス協会の生まれた当時の事を書きます。

伊勢市がまだ宇治山田市と言われていた、今から 60 年ほど前のことです。

公民館の館長 久保倉利彦先生の発案で各青年学級のメンバーが集まり、宇治山田市レクリエーション協会（URA）が生まれました。

フォークダンスやコーラス等、色々なサークルが出来、URAとして活動していましたが、その中からフォークダンス部が独立し、フォークダンス協会が出来ました。

レコードやプレーヤーは公民館のものを使用させていただきました。

沢山のレコードの中でコールペーパーを読んで踊れた曲は「オクラホマ・ミクサー」「コロブチカ」「スピニング・ワルツ」「パティケーキ・ポルカ」等々でした。三笠宮様の振り付けされた「五木の子守唄」や、歌謡曲の「青い山脈」も全てフォークダンスとしてやって居ました。駅前の商品陳列館でコールペーパー片手に練習したものでした。

日本フォークダンス連盟の全国講習会が開かれて、新しい曲目が増えてきました。厚生小学校の講堂（明野の飛行場の格納庫を移築したもの）で二重三重の輪になって、踊ったものです。津、久居、松阪からも沢山の人が参加されていました。全国講習会で指導される曲目が多くて、それはそれは大変でした。

伊勢フォークダンス協会が第五回の全国講習会で表彰され、三笠宮様の前で表彰状を受けた時は感謝の気持ちで一杯でした。

マイケル・ハーマンやリッキー・ホーデンの日本での指導を受け、現在の曲目が普及しました。年々新しい曲目が紹介され、指導する人は大変でした。

中部近畿の第一回夏期講習が開かれたのも伊勢市でした。

現在のフォークダンス協会の隆盛を見ると感一汐です。

久保倉利彦先生をはじめ、青年学級のメンバー諸氏に故人が多くなりました。ご冥福を祈りながら筆を置きます。

私の記憶の中での整理のつかないままに記しました。

（山本英一 記）



※マイケル・ハーマン

…… 昭和 30～31 年に米国国務省からの派遣で F D 専門家として楽団を率いて来日。日本各地で巡回講習会を開催し、世界各国の踊りを数多く紹介。

※リッキー・ホーデン

…… 昭和 32 年と 35 年に米国の国際レクリエーション協会より特使として来日。日本の F D の普及・発展に貢献。

広報紙「ロンド」に関するアンケート結果

4月に各サークルのロンド係の方にご協力いただき、アンケートを実施しましたので、その結果についてご報告します。

対象：全サークル・同好会（計 22 団体）

回答：全 22 団体中 18 団体



Q 1. 協会機関紙「ロンド」はホームページ（HP）にも掲載してありますが、見えていますか？

協会全会員 231 名中 65 名（28.1%）が閲覧

Q 2. 「ロンド」の紙面はどのようなものだと思いますか？「記事の内容」「発行回数」について、それぞれご意見をお聞かせください。

○記事の内容について

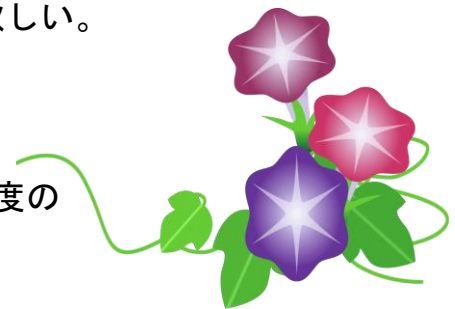
- ・ 行事参加者の感想を少なくして、協会や関係団体の行事予定を中心に確実・迅速に書いてほしい。
- ・ 特集があるといい。テーマを決めてやるといいのではないかな？（各国の特徴を簡単に載せるなど）
- ・ 協会全体の流れをロンドで表現して欲しい。年間のテーマを決め、各サークル平等に記事を書いて欲しい。意識を高めるため、今年は協会の歩みの様な記事も入れて欲しい。

○発行回数について

- ・ これまでどおりでよい
- ・ 年 4 回（春・夏・秋・冬）
- ・ 年初や年度始めなどに出ればよい。新年度の最初の号が 5 月第 3 週では遅い。

○その他 ご意見・ご提案

- ・ ロンド係の仕事は原稿集め（依頼）だと思ふ。発行回数については、HPにも掲載されていてもまだまだ普及していないのが現状なので、「ロンド」では情報提供やサークル間の交流・PRに、今までどおり 2 か月に 1 度（年 6 回）が適当だと思ふ。紙面は昨年度より女性らしくインパクトがあるピンク色に変わり、カラーの方が白より重みがあつていい。



ご協力をありがとうございました。紙面の都合上、割愛させていただいた部分もありますが、皆さまの貴重なご意見を参考に、よりよい「ロンド」を目指して奮闘していきます!!

今年度、広報部では「私とフォークダンス」を年間テーマに、ベテランの方から始めたばかりの人までいろいろな人の視点でフォークダンスについて語っていただけたらと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

尚、今年度広報部は村井正治（カトレア）・赤松明子（アマリリス）・尾西新子（ラベンダー）の 3 名が担当させていただきますので、ご意見・ご要望等があれば担当者までドシドシお寄せ下さい。お待ちしております。

第 163 号 編集担当 尾西 新子